



ケロと楽しくトレーニング

日商簿記 3級 問題集

改正に完全対応！

- おさえるべきポイントをわかりやすく解説！
- 解き方のテクニックを伝授！
- 本番もこれでバッチリ♪
模擬試験問題を収録！

最速簿記
最強簿記



～目次～

第1章 簿記の基礎	p.2
問題1 貸借対照表と損益計算書	問題2 仕訳のルール
第2章 現金・当座預金	p.3
問題3 現金	問題4 現金過不足
問題5 当座預金	問題6 当座借越
問題7 小口現金	
第3章 商品売買	p.8
問題8 仕入・諸掛り・買掛金の決済	問題9 仕入戻し・仕入値引
問題10 売上・諸掛り・売掛金の回収	問題11 売上戻り・売上値引
第4章 手形	p.12
問題12 約束手形の振出し	問題13 約束手形の受取り
問題14 手形の割引き	問題15 手形の裏書譲渡
第5章 貸付金・借入金	p.16
問題16 貸付金と借入金	問題17 手形貸付金と手形借入金
第6章 有価証券	p.18
問題18 株式の処理	問題19 公社債の処理
第7章 固定資産	p.20
問題20 固定資産の購入と売却	問題21 固定資産の減価償却①
問題22 固定資産の減価償却②	問題23 固定資産の売却と減価償却
第8章 資本金と税金	p.24
問題24 引出金と税金	
第9章 貸倒れ	p.25
問題25 貸倒引当金	

第 10 章 費用・収益の見越し・繰延べ	p.26
問題 26 費用・収益の見越し	問題 27 費用・収益の繰延べ

第 11 章 その他の取引	p.28
問題 28 前払金と前受金	問題 29 未収金と未払金
問題 30 仮払金と仮受金	問題 31 立替金と預り金
問題 32 商品券と他店商品券	問題 33 消耗品
問題 34 訂正仕訳	

第 12 章 帳簿	p.35
問題 35 仕訳帳と総勘定元帳	問題 36 小口現金出納帳①
問題 37 小口現金出納帳②	問題 38 仕入帳・売上帳
問題 39 買掛金元帳	問題 40 売掛金元帳
問題 41 受取手形記入帳	問題 42 支払手形記入帳
問題 43 商品有高帳①	問題 44 商品有高帳②
問題 45 仕入帳・売上帳・商品有高帳	問題 46 補助簿の選択

第 13 章 試算表	p.49
問題 47 合計試算表	問題 48 残高試算表
問題 49 合計残高試算表	問題 50 合計残高試算表と掛明細票

第 14 章 伝票と仕訳日計表	p.57
問題 51 伝票①	問題 52 伝票②
問題 53 仕訳日計表の作成	問題 54 仕訳日計表の推定

第 15 章 精算表	p.65
問題 55 売上原価の算定	問題 56 精算表の作成①
問題 57 精算表の作成②	問題 58 精算表の作成③

第 16 章 財務諸表の作成と帳簿の締切り	p.71
問題 59 財務諸表の作成	問題 60 帳簿の締切り

問題編

レッスンのあとは
オイラと一緒にトレーニング♪
手と頭をフル回転させて
処理を体でおぼえよう！



～第1章 簿記の基礎～

問題1 貸借対照表と損益計算書

解答解説 p.2

下記の貸借対照表と損益計算書の空欄に資産・負債・純資産・収益・費用・利益・損失のいずれかを記入しなさい。

解答欄

貸借対照表

()	()
	()

損益計算書

()	()
()	

問題2 仕訳のルール

解答解説 p.2

下記の1から10について、借方に記入するものと貸方に記入するものに分類しなさい。

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 資産の増加 | 2. 資産の減少 | 3. 負債の増加 | 4. 負債の減少 |
| 5. 純資産の増加 | 6. 純資産の減少 | 7. 収益の増加 | 8. 収益の減少 |
| 9. 費用の増加 | 10. 費用の減少 | | |

解答欄

借方に記入するもの	貸方に記入するもの

～第2章 現金・当座預金～

問題3 現金

解答解説 p.3

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現金 当座預金 売掛金 貸付金
買掛金 借入金 売上 仕入

1. 東京商店に商品¥500 を売り上げ、代金は同店振出しの小切手で受け取った。
2. 借入金¥800 を現金で返済した。

解答欄

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

簿記上の現金の
範囲は広いんだよね



問題4 現金過不足

解答解説 p.4

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現	金	当座預金	通信費	旅費交通費
雑	損	雑益	受取地代	現金過不足

- 現金の実際有高が帳簿残高より¥500不足していた。
- 上記1の現金不足額¥500の原因は、旅費交通費の記帳漏れと判明した。
- かねて現金過不足勘定で処理していた現金の不足額¥8,000の原因について調査したところ、地代の受取額¥3,000と交通費の支払額¥9,000の記帳漏れが判明した。なお、残額については原因不明のため、雑損勘定で処理することとした。
- 決算において、現金過不足勘定の借方残高が¥1,000ある。原因が不明であるため、適当に処理すること。
- 決算において、現金過不足勘定の貸方残高が¥1,200ある。原因が不明であるため、適当に処理すること。

解答欄

	仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

問題5 当座預金

解答解説 p.5

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現 金 当 座 預 金 売 掛 金 貸 付 金
買 掛 金 借 入 金 売 上 仕 入

1. 現金¥300 を当座預金口座に預け入れた。
2. 千葉商店より商品¥600 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

解答欄

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

自分が小切手を振り出したときは
『現金』と『当座預金』の
どっちを使うんだっけ？



問題6 当座借越

解答解説 p.6

下記の一連の取引について、①一勘定制と②二勘定制により仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現金 当座 当座預金 売掛金
 当座借越 買掛金 売上 仕入

1. 神奈川商店より商品¥600 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金勘定の残高は¥400 であり、当座借越契約（限度額¥500）を結んでいる。
2. 現金¥300 を当座預金口座に預け入れた。

解答欄

①一勘定制

	仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				

②二勘定制

	仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				

問題7 小口現金

解答解説 p.7

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを使用すること。

現	金	当座預金	小口現金	通信費
旅費交通費		水道光熱費	消耗品費	雑費

1. 会計係が小口係に小口現金の前渡分として、小切手¥1,000を振り出した。
2. 小口係より、旅費交通費¥300を支払った旨の報告を受けた。
3. 小口係より、水道光熱費¥500と雑費¥200を支払った旨の報告を受けたため、ただちに小切手を振り出して補給した。

解答欄

	仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				

解答解説編

間違ってしまったところや
不安なところは
必ずテキストに戻って
再確認してね♪



問題1 貸借対照表と損益計算書



貸借対照表

(資 産)	(負 債)
	(純 資 産)

損益計算書

(費 用)	(収 益)
(利 益)	

問題2 仕訳のルール



借方に記入するもの	貸方に記入するもの
1, 4, 6, 8, 9	2, 3, 5, 7, 10

解説

1. 資産の増加は借方に記入します。
2. 資産の減少は貸方に記入します。
3. 負債の増加は貸方に記入します。
4. 負債の減少は借方に記入します。
5. 純資産の増加は貸方に記入します。
6. 純資産の減少は借方に記入します。
7. 収益の増加は貸方に記入します。
8. 収益の減少は借方に記入します。
9. 費用の増加は借方に記入します。
10. 費用の減少は貸方に記入します。

これをしっかりおさえることが
簿記マスターへの近道だよ♪



問題3 現金



	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	500	売 上	500
2	借 入 金	800	現 金	800

解説

1. 他店が振り出した小切手を受け取ったときは、『現金』（資産）で処理し借方に記入します。また、商品を売り上げたときは、『売上』（収益）で処理します。
2. 借入金の返済により現金が減少するため、『現金』（資産）を貸方に記入します。また、借入金が増加するため、『借入金』（負債）を借方に記入します。

ケロの『コレちょっとおさえてケロ!』

簿記上の現金の範囲は広いケロ!

- ① 紙幣・硬貨
- ② 他人振出の小切手
- ③ 送金小切手
- ④ 郵便為替証書
- ⑤ 配当金領収証
- ⑥ 期限到来後の公社債利札

ちょっとずつ
おぼえよう♪



問題4 現金過不足



	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金過不足	500	現金	500
2	旅費交通費	500	現金過不足	500
3	旅費交通費	9,000	現金過不足	8,000
	雑損	2,000	受取地代	3,000
4	雑損	1,000	現金過不足	1,000
5	現金過不足	1,200	雑益	1,200

解説

- 現金の**実際有高に帳簿残高を合わせる**処理をします。**実際有高の方が少ない**ため、『現金』（資産）を**貸方**に記入することにより帳簿残高を減少させます。また、**相手勘定（借方）は『現金過不足』**で処理します。
- 現金過不足の原因が判明**したら、『現金過不足』勘定からその原因を示す**適切な勘定科目に振り替**えます。
- 本問では、現金過不足が生じた際、次のように仕訳しています。
 (借) 現金過不足 8,000 (貸) 現金 8,000
 したがって、原因が判明したときには反対側、すなわち貸方に『現金過不足』を記入します。
 なお、**原因不明な分**については、『雑損』（費用）または『雑益』（収益）で処理します。
- 現金過不足勘定の残高が借方に残っている**ため、『現金過不足』を**貸方**に記入し、『雑損』（費用）を**借方**に記入します。
 なお、「現金過不足勘定の残高が借方に残っている」というのは、現金の実際有高が帳簿残高より少ないことを意味します。
- 現金過不足勘定の残高が貸方に残っている**ため、『現金過不足』を**借方**に記入し、『雑益』（収益）を**貸方**に記入します。
 なお、「現金過不足勘定の残高が貸方に残っている」というのは、現金の実際有高が帳簿残高より多いことを意味します。

ケロの『コレちょっとおさえてケロ!』

現金過不足の決算手続きをまとめるよ!

- 現金過不足勘定が借方に残っている
⇒ 『雑損』(費用)に振り替える
- 現金過不足勘定が貸方に残っている
⇒ 『雑益』(収益)に振り替える



問題5 当座預金



	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	300	現金	300
2	仕入	600	当座預金	600

解説

1. 当座預金が増加するため、『当座預金』(資産)を借方に記入します。また、現金が減少するため、『現金』(資産)を貸方に記入します。
2. 小切手を振り出すことにより当座預金が増加するため、『当座預金』(資産)を貸方に記入します。また、商品を仕入れたときは、『仕入』(費用)で処理します。

ケロの『コレちょっとおさえてケロ!』

- ① 自己振出小切手 ⇒ 『当座預金』で処理
- ② 他人振出小切手 ⇒ 『現金』で処理

同じ小切手でも
使う勘定科目が違うね♪



問題6 当座借越



①一勘定制

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	600	当座	600
2	当座	300	現金	300

②二勘定制

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	600	当座預金	400
			当座借越	200
2	当座借越	200	現金	300
	当座預金	100		

解説

①一勘定制（『当座』という1つの勘定科目で処理する方法）

1. 小切手を振り出すことにより**当座預金**が減少するため、『当座』を**貸方**に記入します。
2. **当座預金**が増加するため、『当座』を**借方**に記入します。また、**現金**が減少するため、『現金』（資産）を**貸方**に記入します。

②二勘定制（『当座預金』と『当座借越』という2つの勘定科目で処理する方法）

1. 小切手を振り出すことにより**当座預金**が減少するため、『当座預金』（資産）を**貸方**に記入します。この際、**当座預金勘定の残高を超える部分**（当座預金残高がマイナスとなる部分）の¥200については、『当座借越』（負債）として処理します。
2. **当座借越が生じている場合において、当座預金口座に入金したときは、まず『当座借越』（負債）を減少させます。それを超える部分**（当座預金残高がプラスとなる部分）は**当座預金**が増加することになるため、『当座預金』（資産）を**借方**に記入します。また、**現金**が減少するため、『現金』（資産）を**貸方**に記入します。

ケロの『コレちょっとおさえてケロ!』

当座借越の処理には2つの方法があるケロ!

一勘定制が簡単で好き♪

① 一勘定制

当座預金の増減取引を『当座』という1つの勘定科目で処理する方法

② 二勘定制

当座預金の増減取引を『当座預金』と『当座借越』という2つの勘定科目で処理する方法



問題7 小口現金



	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	小 口 現 金	1,000	当 座 預 金	1,000
2	旅 費 交 通 費	300	小 口 現 金	300
3	水 道 光 熱 費	500	当 座 預 金	700
	雑 費	200		

解説

- 小切手を振り出すことにより**当座預金**が減少するため、『**当座預金**』（資産）を**貸方**に記入します。また、**小口現金**が増加するため、『**小口現金**』（資産）を**借方**に記入します。
- 小口係より**支払いの報告**を受けたときに**仕訳**をします。小口係の支払いにより**小口現金**が**減少**するため、『**小口現金**』（資産）を**貸方**に記入します。また、**旅費交通費**の支払いであるため、『**旅費交通費**』（費用）を**借方**に記入します。
- 支払報告と補給を同時に行う場合、①報告時と②補給時の仕訳をまとめた形で解答します。

①	水 道 光 熱 費	500	小 口 現 金	700
	雑 費	200		
②	小 口 現 金	700	当 座 預 金	700